

## 理由書

熊本都市計画区域マスタープランにおいては、産業、経済、教育、文化、広域行政等の高次都市機能を集積するとともに、広域交通拠点をもつ地域として拠点性を高め、九州各都市圏、日本全国、東アジアと連携した都市づくりを進めて行くこととしており、阿蘇くまもと空港は、利便性向上のための機能強化を図り、より一層定時性が確保されるようなアクセス対策を進めることとしている。

一方で、半導体関連企業が集積や新たな宅地開発などにより、土地利用が変化し、さらに、コロナ禍における生活様式の変容などを受けて、交通環境も大きく変化している。

そのため、「くまもと新時代共創総合戦略」では、将来の熊本都市圏の基幹となる鉄道ネットワークを実現するため、阿蘇くまもと空港アクセス鉄道の整備を推進することとしており、「熊本都市圏都市交通マスタープラン」においても、公共交通ネットワークの将来像として位置付けている。

これらを踏まえ、JR 豊肥本線肥後大津駅と阿蘇くまもと空港を鉄道で結ぶことにより、空港アクセスが改善され、公共交通ネットワークの強化や道路交通の渋滞緩和が期待されるとともに、観光振興や地域経済の活性化など、広域的な都市構造の発展にも寄与することから、都市高速鉄道阿蘇くまもと空港アクセス線（仮称）を都市計画に定めるものである。